ハナショウブ

人権教育月間（５月１０日（水）～５月３０日（火））

春季の人権教育月間が行われました。５月１０日（水）には学習のスタートとして、校長先生から体育館でお話をしていただきました。スマホの困りごと５項目を提示され、どれがいちばん嫌かという質問に同じ答えの人で集まってみるという活動をもとに「自分の嫌なことは相手にはしない、ということはよく言われるが、自分が嫌だと思わないことでも、人によっては嫌だと思うことがある」ということを客観的に知ることができました。

そのあと、平成２０年度の生徒会によって制定され、先輩方が大事に引き継いできた「南中人権宣言」を復唱しました。この宣言のもと、いじめや差別のない学校にしようと呼びかけられました。

南中人権宣言

「いじめをしない　させない　見過ごさない」

第１条　私たちはいつも平等であり、楽しく安心して学校生活を送ることができる
第２条　私たちは個性の違いを認め合い、１人１人を大切にする
第３条　私たちは学校生活で、自分の意見を表現することができる
第４条　私たちはいじめや差別を受けたとき、友達や家族、先生に助けを求めることができる
第５条　私たちはいじめや差別、冷やかしなどの行為を許さず互いに助け合う

小中連絡会がありました

５月２３日（火）に１年生が小学校のときにお世話になった先生方にお越しいただいて小中連絡会を行いました。１年生は朝から先生方がお見えになるのを楽しみにしていた様子でした。先生方も同じ思いだったようで、会議等でお忙しい合間を縫って駆けつけていただいた先生もいらっしゃいました。授業を見ていただいたあと、小学校ごとに分かれて懇談の時間を取りました。懇談は終始楽しそうな雰囲気で行われていました。小学校の先生方からは、短い期間の皆さんの成長にとても驚いた、いいスタートが切れたようで安心したとの感想をいただきました。

小学校の先生との懇談の様子

全校が集まる機会が増えました

５月２４日（水）に４年ぶりの鑑賞音楽会が開かれました。今年は、ザ・ソウルマティックスという、日本のゴスペル界の第一人者のグループの皆さんにお越しいただきました。とても迫力のある歌声、歌詞に込められたメッセージ、私たちの心にたくさんの思いを響かせていただいた１時間でした。

また、コロナ禍の間は教室でのリモート参加で行われていた、音楽集会や生徒集会、応援練習なども全校の皆さんが集まって行われています。４月に行われた音楽集会では全校で歌を歌うということが久しぶりすぎて戸惑いを覚えた人もいた様子でしたが、次第に雰囲気にも慣れてきたのか、一昨日の応援練習ではお腹から精一杯の大きな声を出して取り組んでいる姿が見られました。

東信大会スタートです

明日３日（土）の陸上競技を皮切りに、令和５年度の中体連東信大会がスタートします。これまでの積み重ねてきたものを出し切り、終わったときに「やり切った」と思えるような大会にできればいいなと思います。

結果につきましては、その都度ＨＰでお知らせします。個人情報保護の観点から、個人名は掲載しませんのでご了承ください。

※生徒たちが安心して学校生活を過ごすことができるよう、依田窪南部中学校では、教職員による非違行為防止研修を日頃より継続して実施しています。
※５月２４日（水）に、南部支会４校の教職員が集まり人権研修会を行いました。
※外部からのお知らせや募集のチラシなどについて、今後、ＨＰや連絡メールでお知らせする場合がありますのでご承知おきください。

依田窪南部中学校　　電話　８５－２３３２
校長　緑川　篤（文責　教頭　花岡　岳）